

平成30年5月10日 00377号

編集者:佐藤寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】 武道振興協会事務所の花シリーズ武道館前の桜が今年は長く楽しめています。4月30日は29度と夏日となり、連休が楽しみでしたが、曇りがちで気温も上がり雨の日もありました。5月8日は、みぞれまじりの寒い日となり、室内での暖房がうれしく感じる気候となっています。さいわい嵐はまぬがれ、散る花びらも少いため、長く桜を楽しむことができています。



第40回大会記念北見練心会稽古会が開催されました！

4月28日(土) 武道館(道場1)において、少年柔道を指導する団体、北見練心会の第40回大会を記念する稽古会がありました。既に大会(4/22)は、サハリンの子供たちが参加するなど盛会に終了しており、40回を記念する稽古会で、これまで北見練心会に籍のあった人たち109名が参加しました。

連載「武道宝鑑」第18弾 柔道秘訣 柔道教士七段 尾形源治 『柔道修行の心得』

次に道場であるが、道場は^{ぶつきょう}佛教の専念工夫をこらす専門道場と同一であって、清潔第一壯嚴を保つ可きである。^{どうじょう}道場に入ったばかりで何となく威厳に打たれる底の^{てい}神聖さを保持する必要がある。「練習中の注意」柔道の修行は礼を以て終始することである。しかし^{きよれい}虚礼は^い厳に戒めなければならぬ。形の礼、心の礼、相共に行わねばならない。初心者はまず形の礼から始めねばならぬ。道場に入りの際は羽織袴等の制服を着用に、かりそめにも不作法の事があってはならない。神殿に敬礼し、教師、先輩、同僚に挨拶すべきである。道場内には上席と下席の・・・つづく